



人類に
奉仕する
ロータリー

Chitose Rotary Club

千歳ロータリークラブ会報

2017年3月9日

第24号 (通算2322号)

大西会長方針
「相手の気持ちになろう、ロータリーの気持ちになろう」

会長 大西 信也 副会長 齊藤 博徳 幹事 今野 良紀
会長エレクト 瀧澤 順久 会計 喜多 康裕
第2510地区ガバナー 武部 實 第7グループ・ガバナー補佐 高木 繁秀

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1968年4月26日

～3月は水と生活月間～

本日の例会 (3月9日 第26回) 通常例会

担当: 環境保全委員会

第25回(通算2458回)例会報告

日時: 2017年2月23日(木) 12:30~13:30

場所: ANAクラウンプラザホテル千歳

プログラム: 通常例会(ロータリー創立記念例会)

担当: ロータリー情報・定款細則委員会

進行: SAA・プログラム委員会 吉岡 毅 委員

四つのテスト 親睦活動委員会 佐々木 義朗 委員

の次の番である千歳RCが、次年度のガバナー補佐を選出することになりました。従いまして、ガバナー補佐は次年度より「千歳→恵庭→北広島→千歳セントラル→長沼→由仁」順での選出となります。よって、千歳RCでは、「次年度の瀧澤年度の時にガバナー補佐選出」、「次々年度の今野年度の時にIM開催」となります。IM開催に向けての実行委員会は担当クラブにて立ち上げます。以上が会長・幹事長会で決まった内容です。では、本日もよろしくお願いいたします。

お客様紹介(齊藤 博徳 副会長)



本日のお客様を紹介します。江別RC 第2510地区ガバナー指名委員会 委員長 我孫子 建雄 パストガバナー、同じく、江別RC 第2510地区元代表幹事(我孫子ガバナー在任当時) 矢島 壮之様、以上でございます。

パストガバナー挨拶(我孫子 建雄 様)



皆様お久しぶりでございます。今年度2510地区のガバナー指名委員会の委員長を務めています我孫子でございます。ガバナー指名委員会はパストガバナーで構成されており、ガバナーは委員会に入ることにはできません。ガバナーは参考人として委員会に顔を出すことはできますが、意見は言えません。その様な形でガバナー指名委員会は運営されています。

会長挨拶(大西 信也 会長)



今日は、ロータリー創立記念例会です。この2月23日が千歳RCの屋間の例会日で記念例会となったのは、私が入会して以降、一度も無かったと思います。1905年2月23日、シカゴ・ロータリークラブは、弁護士ポール・ハリスの首唱により、僅かに3人の同士を集めて創設されました。

この時、ポール・ハリスは36歳でした。創設から3年後に、2番目のクラブとしてサンフランシスコ・ロータリークラブが出来て以来、志を同じくするクラブが各地に生まれ、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,399、会員総数1,207,913人(2016年7月1日RI公式発表)に達しています。そしてこれら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(RI)と言います。この後、ロータリー情報・定款細則委員会の担当で、ロータリーについての卓話がありますので、楽しみにして下さい。

2月9日(木)に第7グループ会長・幹事会が長沼RCで開催されましたので、その報告をしたいと思います。

1. 2510地区内のグループ再編は、8割のクラブが反対しているため実行されなくなりました。しかし、第10と第11グループは(これは函館方面ですが)統合される予定です。

2. タイのアカ族の子供達に古着を送るという支援プロジェクトを第7グループの合同事業として行うことになりました。これは、長沼町で行なわれる3月26日のIM(インターシティー・ミーティング)の中で説明されます。

3. 次年度以降のIMの担当クラブの持ち回りについて協議がありました。IMの順番は、輪番制「由仁→千歳→恵庭→北広島→千歳セントラル→長沼」で変わらないことになりました。そして、ガバナー補佐を出すクラブも輪番制ですが、次年度より変更があります。次年度は由仁RCがガバナー補佐選出の当番ですが、会員数が9名と少ないためガバナー補佐の選出が難しいことから、由仁RC

昨年秋より、ガバナー・ノミニ(2019-2020年度ガバナー)候補者を公募しておりましたが、締切日の12月1日になってもガバナー・ノミニ候補者が現れませんでした。その後、ガバナー指名委員会で会議を重ねていたところ、千歳RCの佐藤秀雄パストガバナーから、「千歳RCからガバナーを」というお話をいただき、正直ホッといたしました。つきましては、2017年の年明け早々にガバナー指名委員会を開催し、福田武男さんを2019-2020年度ガバナーとして正式決定させていただきました。千歳RCより福田武男さんを推薦していただいたことに対し、本当に感謝しております。本日はそのお礼をお伝えたく、参上した次第です。

地区内の全クラブを回って全会員と会うことができるのは、ガバナーだけです。そう思うと、私自身、大変な経験をしたと改めて感じています。その中で新しい友人ができたり、様々なことを教えられるたり、ということもありました。それによって、私自身の中身は相当変わったと思っています。ガバナーはRI会長を補佐する立場にもあります。RIの方針に従うとともに、地区の顔になっていくわけですから、是非とも、各クラブとの友情を深めていただき、ガバナーの任務を全うしていただければと思います。

最後になりますが、ガバナー指名委員長の大役を無事に果たすことができましたご報告と、千歳RCの皆さんに感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。どうか福田武男さんを盛り上げて、素晴らしいガバナーを誕生させるためのお力添えをいただければ幸いです。本日はありがとうございました。

幹事報告(今野 良紀 幹事)

1. 吉岡毅会員が当クラブのホームページのスマホ・タブレット端末向け画面最適化作業に当たり、その費用として5万円が発生するところを、なんと無料で対応していただきました。吉岡毅会員のおかげで、スマホ・タブレット端末からのホームページ閲覧が、とても快適になりました。ありがとうございました。

2. 下期会費未納入の方は、納入を
よろしく願いいたします。

3. 3月9日の通常例会は環境保全
委員会が担当です。丹治秀一PCに
卓話をお願いしています。たくさ
んの参加をお願いいたします。尚、AN
Aクラウンプラザホテル千歳の都合
により、例会会場が変更となりま
す。3月9日の通常例会は、リア
ン平安閣3階にて開催いたします。お間違いの無きようお願いいた
します。

4. 3月11日にキリンビール（株）北海道千歳工場の名川工場長
の送別会を、18時30分よりリアン平安閣にて行いますので、たく
さんの皆様方のご出席をお願いいたします。



委員会報告

本日の委員会報告はありません。

会員卓話

◇佐藤秀雄 パストガバナー



先月は職業奉仕月間ということもあり、藤本敏廣 ロータリー情報・定款細則委員長から職業奉仕について卓話するように要請され、壇上に立っています。「職業奉仕って何だろう」と思っている会員が、少なからずクラブにいるのではないかと
思っています。当クラブは、入会3年未満の会員が3分の1を占めています。私は、「ロータリー運動」とは「倫理運動」だと思っています。ですから、例会場は成人学校であると認識しています。従って、例会出席はロータリアンにとって重要な場所なのです。

初期の国際ロータリーは、ロータリー運動の原理・理念について、喧々諤々の論争をしていました。親睦派と奉仕派の戦いでありました。そこに「奉仕の実践にかかる決議23-34」が採択されました。親睦派と奉仕派が調整され、理念も重要だが実践も重要だ、とうことで「決議23-34」が決議された4年後の1927年、RI理事会は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕および国際奉仕の四大部門を制定し、実践活動の段階に入ったわけです。

ここで初めて職業奉仕という概念が出てきました。そこで、「職業奉仕とはなんだ」ということとなりますが、広辞苑を引いても出てきません。これは全くのロータリーの造語であります。

ロータリアンはみな職業を持っています。実業人は実業の、専門職は専門の職業を持ち、それぞれ自分の職業を、天から与えられた天職として働いているわけです。その職業を営む上での根底にある社会的規範（道徳）が、職業奉仕だと思っています。ですから、職業奉仕は、多分に精神的な部分を占めているのです。

毎回、例会場において斉唱する「四つのテスト」を思い起こしてください。「四つのテスト」は、我々ロータリアンが行動を起こす前提として、考慮しなければならぬ事柄なのです。会員名簿にはその他に、「ロータリー倫理訓」、「ロータリー宣言」、「奉仕の実践にかかる決議23-34」、「ロータリー行動規範」等の記載があります。これらを熟読し、理解し、そして自分の職業を行う礎とする。このことにより自己を高め、寛容の心を養い、素晴らしいロータリアンとして、地域社会においても高い評価を受けるものと確信しています。機会がございましたら、次回は「決議23-34」の経緯などもお話してみたいと思います。

◇講師：福田 武男 ガバナー・ノミニニー



皆さん、こんにちは。ガバナー・ノミニニー指名の話聞いたときは、半分以上が冗談だろうと思っておりました。正直なところ、ガバナー・ノミニニー正式決定までには日数がなく、気持ちの整理もついていない状況でありましたが、「何とかやってみよう！」という気持ちで引き受けさせていただきました。しかしながら、ガバナーになるということ

を、今でも全く違う他人事のように自分では感じています。どうしたらいいのか全くわかりません。しかし、わかっていることは、千歳RC全体、ここにいらっしゃる皆さんが協力していただかないと任務は全うできない、ということだけは確かであります。千歳RCや第7グループが脚光を浴びるような年度にしていきたいと考えております。今はそのくらいしか考えておりませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日はたまたまロータリー創立記念日の2月23日です。今まで、2月23日に例会が開催されたことは私の記憶にありません。1905年2月23日（木）以降、同じ日の例会が何回あったのかわかりませんが、2月23日の例会は恐らくこれが最後の例会になると思います。何故かといいますと、来年から2月23日は祝日になるかも知れません。2月23日は皇太子殿下の誕生日だからです。

ロータリーの目的について、私の解釈にて少しお話ししてみようかと思えます。ロータリーの目的は「The Object of Rotary is to encourage and foster・・・」という始まりです。そして、「as a basis of worthy enterprise」とあり、その「enterprise」をどう訳すかが議論のあるところです。私はその部分を色々と考えて、3年前の「ロータリーの友」にその考え方を投稿したところ、たまたま採用されました。「enterprise」は「日常活動」と訳すらしいです。手帳には「意義ある事業の基礎として」とあり、「enterprise」は後にも先にもここにしか出てきません。他の職業とかの部分には「enterprise」は出てきません。ここだけです。今は職業がなくても誰でもロータリアンになれます。なのに、なぜここは直さないのか。「enterprise」を直さなければならぬのではないのか。ネイティブの方も直さない。そこでネイティブの方に聞いたら、しばらく考えて、これは「activity」だ、「activity」と訳せば何の問題もない。と言っていました。

ですからロータリーの目的はこういうこととなります。「日常生活の中で奉仕の理想、奉仕の心、ロータリーの心を大切にしていこう」。非常に分かりやすいと思います。究極の簡単な言い方は「黄金律（ゴールデン・ルール）」です。「相手にして欲しいと思うことをあなたがしてあげなさい」ということです。宗教の世界です。どの宗教にもあります。

ですからロータリーの目的としていることは、非常にシンプルです。「相手の嫌がることはしてはいけない。相手のして欲しいことをしてあげなさい」ということです。

先ほど「四つのテスト」を唱和しましたが、四つ覚えるのは大変です。「それは、みんなにとって良いことですか」、この一言で全てがカバーできます。一つの職業をやっている、その取引が、働いている人にとっても良いし、お客さんにとっても良いし、売る側にとっても良いし、地域の誰にとっても良いですよ。というのであれば、これは良いのだということです。ですから、「四つのテスト」とその「一つのテスト」は、同じようなことではないかと思っています。簡単に言えば「それは、みんなにとって良いことですか？（Is it good for people?）」と、非常にシンプルに言い表すことができます。

『当初のロータリーは「職業」に重きを置いていた。1934年にポール・ハリスはその「職業」から決別した』。とはどこにも書いていませんが、私はそう考えています。サービスの理念、ロータリーの心、そういう奉仕の心がロータリーの最大の目標です。

話は戻りますが、ロータリーの目的は、「サービスの心を、地域や世の中、世界中に広げて行って、みんな仲良く世界平和を達成しようではないか」。それしかないと思います。余計なものを全部そぎ落としてシンプルさを追求して行くと、そうなるのかなと私は考えています。しかし、この考え方はあくまでも私見ですので、地区の職業奉仕委員会では受け入れられておりません。今日は自分のクラブなので、思いつくまま、勝手なことをお話させていただきました。また機会がございましたら、準備を万全にし、みなさんに分かりやすくお話をしたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

本日のニコニコBOX 15名 40,000円

～ 詳しくはホームページをご覧ください ～

出席率

今回：60.3%（2月23日＝38／63 実数）

確定：57.1%（2月9日＝36／63、うちMu0名）